

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2006.02.15

参加者 高松（邑久小） 福井（中央小）

22日にせまった仁美小学校での出前授業に向け高松先生の準備が快調に進んでいます。しかも、ただ準備をするというのではなく、新しい物を開発してしまうというのだから驚きです。下に紹介するものづくりのうちいくつかは全国に広がって、スタンダードになっていくと思います。その最初の場に居合わせたと言うことは非常にラッキーでした。

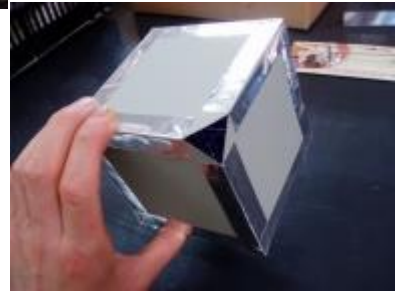
【スライムのほう砂はホームセンターで】高松

科学遊びの代名詞とも言われるスライム作りに使う「ほう砂(四ほう酸ナトリウム)」ですが、これまで薬局や教材屋で500gを2千円程度で購入していました。しかし、ホームセンターの園芸コーナーでは植物の消毒用として1kgをたった260円で売っているのだそうです。



【最新型！究極の綿菓子器】高松

綿菓子器には歴史があります。初めのうちはアルミ缶に穴をあけてモーターで回していました。でも、穴あけが面倒なのとアルミ缶の内側にある被膜が有害ではないかという批判によって茶こし・アルミ底板・電気カミソリに進化しました。この茶こし方式は砂糖の出がよく、何度も使えるので画期的な発明だったのですが、製作に手間がかかるという難点がありました。今回、高松先生が考案された「フタなし茶こし方式」は、製作が簡単で、砂糖の補充も簡単な超スグレモノです。全国に広めたい発明です！



【改良版ラビリンスボックス】高松

岐阜物理サークルのホームページに紹介されているラビリンスボックスの改良版です。①ミラープレート of 接着にアルミテープを用いることで遮光が良くなりました。②採光部のセロハンの代わりにフィルム(?)を貼ることで美しく、しかも簡単になりました。



【ピカピカ万華鏡】高松

上のフィルムを三角形の舌状に切り万華鏡につけると、指で動かすたびにピカピカ光ります。大発明です！



【改良版プラとんぼ】高松

「たのしい授業」2003年7月号で阿部徳昭さんが紹介されていたプラとんぼのサイズと安全用部品の改良です。

